

ぼくたちに出来ること

くし形小学校 四年

橋本 我空

優しさとは何か、思いやりとは何かを考えさせられる出来事がありました。

ぼくは先日、足の不自由な方が大きな荷物を持って歩道橋を登ろうとひと休みしているところに通りかかりました。ぼくは、ドキドキしながら声をかけようかとまよってひたひた後ろが、

「お荷物持ちましょうか」と女の子が声を

かけました。ぼくは話しかける勇気がなかなかもてなかつたのです。ごいなという気持ちと正直少しほとした気持ちがありました。

その時です。声をかけられた足の不自由な方には、ぼくがそうぞうしていた答えとはちがう返事がかえってきたのです。

「ありがとうございます。でも、自分で出来ることは自分でやりたいので大丈夫です。

何かあった時におねがいします。それまでは見守っていて下さい」と。

ぼくは、しよがいを持つている方です。で、の方が手だすけを望んでいて、わけては、ないのだけれど、しよがいをばいめて、知りませんでした。

ですが、ぼくには、しよの方が手だすけを望んでいて、しよの方が、しよの方が、手だすけが必要なのか、しよの方を見守るだけで、良いのか、わかりません。そのため、まがぼくたちに、出来ることは、しよがいを、持つている方への、優しい声かけなのではないでしょうか。

「何かお手伝い出来ることはありますか。」と声をかけ、にま、っている方が、いた、一生懸命、手だすけをして、それを望まない方には、思いやりをも、って、優しく見守ることが、大切なのだ、と思います。

ひとり、は、みんな、のために、みんな、は、ひとりのために、ひとり、ひとり、が、そんな、心と、気持ち、をも、って、しよがいを、持つ、ている、方と、せ、する、ことが、出来たら、すばらしい、と思います。